

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

保健部

一人一人が感染防止対策をするという意識をもって生活を送る

自分の周りではないからと他人事にしないことが大切。マスクの着用、手洗い、うがいの励行、換気をする、免疫、体力をつけるために生活リズムを整える、3密を避けるなど、日頃から自分ができることをしていく。自分の行動が、自分や周りの人を守ることに繋がっていると意識する。



正しい情報をつかむ

公的機関などがホームページ等で提供する正確な情報を入手し、冷静な行動をとること。

例) 首相官邸・厚生労働省・文部科学省・国立感染症研究所など

予防①手洗い

接触感染に注意!

新型コロナウイルスの感染経路として、飛沫感染のほか、接触感染に注意が必要です。

人は、“無意識”に顔を触っています。

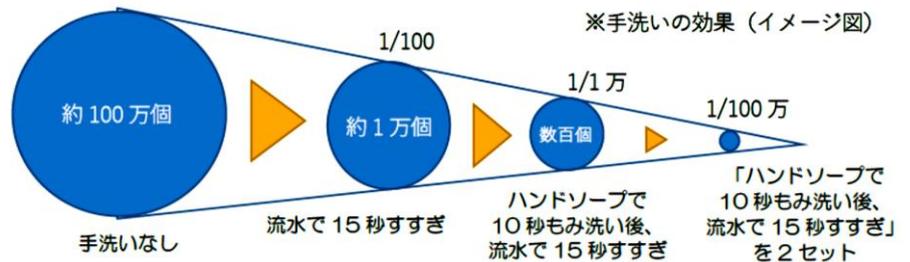


そのうち、目・鼻・口などの粘膜は約**44パーセント**を占めています。

手洗いの5つのタイミング

- ①公共の場所から帰った時
- ②咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ③ご飯を食べる時、その前後
- ④病気の人のケアをした時
- ⑤外にあるものに触った時

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます!



予防②咳エチケット マスクの着用

飛沫感染を防ぐ

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



予防③3つの密

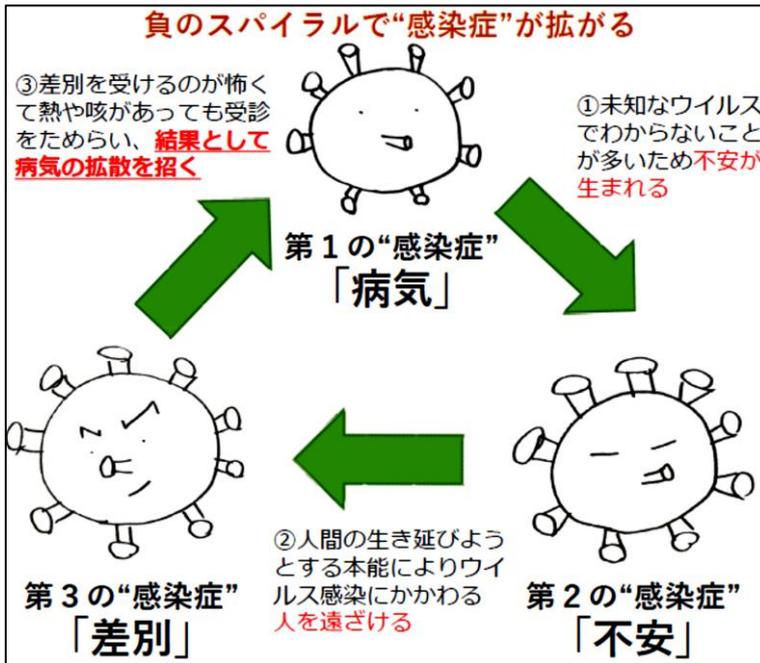
クラスター（集団感染）をいかに抑えるかがこの感染症の対策の主となっています。
感染症にかかりやすい状況を作り出さない、場所に行かないことが大切です。



新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見

自分が適切な行動をとることができるようにするには、どうしたらいいのか。差別や偏見について考えてみる。

●差別や偏見はどうやって自分たちの心に起きるのか。



この“感染症”の怖さは、

「病気」が「不安」を呼び、「不安」が「差別」を生み、差別が「さらなる病気の拡散」につながる。

自分自身の不安から、特定の対象（※）を嫌悪の対象としてしまう

※ 感染症が広がっている地域に住んでいる人、咳をしている人、マスクをしている人、外国から来た人、医療従事者

差別や偏見の心を取り除くには、自分の「不安」を解消する

自分が思っている不安を人に話す	正しい情報をつかむ
悪い、不安な情報ばかりに目を向けない	誰かが話す差別的な言動に同調しない

この感染症は、誰もがかかるおそれのある病気であること。感染症にかかってしまうこと自体が、悪いことではない。という意識を持つ。